

❁小児・AYA世代のがんについて

小児がんの治療は進歩していて、小児がん経験者の70%以上が治癒し、多くの方が成人しています。

しかし、心や身体の成長途中に、抗がん剤や放射線などの治療を受けるため、治療が終わって何年もしてから、治療の影響による合併症が起こることがあります。

そのため、長く、上手にお付き合いしていかなければならない病気でもあります。病気のこと、治療のこと、治療が終わってからのことをきちんと知っておく必要があります。

★冊子

千葉県では、小児がん患者とその家族が適切な医療や支援を受けられるように、小児がん患者・家族向け情報誌「安心して闘病生活を送るために」を作成しました。

医療機関の情報や、福祉、教育、生活のことなどの情報が一冊にまとまっています。



★小児がん診療に係る医療機関実態調査



小児がん患者とご家族及び小児がん経験者の方が可能な限り慣れ親しんだ地域での治療や支援、長期フォローアップが受けられる環境の整備を検討していくため、県内の医療体制等を調査し、千葉県ホームページ上で公表しています。

相談窓口

小児がんに関する相談は、がん相談支援センター等で対応しています。詳しい問い合わせ等については、小児がん患者・家族向け情報誌「安心して闘病生活を送るために」P28（病院の相談窓口）をご覧ください。

AYA世代のがんについては、坂本委員に執筆を依頼中。
小児・AYA世代のがんについてで計2ページとなる様予定。